

2026年 シラバス

履修規定	選択必修課目 専門教育科目	授業科目	メイクアップ技術
履修学年	1年	コース	理容科
担当教員	小山民恵	経歴	教員
授業時間数	32	授業方法及び場所	講義 実習 校内

1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・基礎化粧品を用い、肌そのもののお手入れと保護を目的とし、整えることは、現代においては、男女を問わず身だしなみの一つと捉えられている。
単に、美化するという観点からではなく[正しく肌の健康を守る]という観点からのお手入れ法を学ぶことを目的とする。
- ・安心安全な技術を提供するための知識の習得を目指す。
- ・衛生管理の重要性を学ぶことを目的とする。

2. 学習内容

- ・自己修復作用を利用し、効率よく肌の再生を促すようなスキンケアの重要性やスキンケア製品について学ぶ。
- ・清浄・整肌・保護のテクニックを繰り返し収れんし、実技テスト及び小テスト等で確認する。

3. 学習方法

- ・座学による講義とともに、ウィッグを使用し、基礎となる部分を反復し、技術の定着を図る。

4. 学習評価

- ・学習態度、出欠状況の評価する。
- ・学期末テスト
- ・提出物、小テストにより評価する。

教科書	理容技術理論2 理容実習2 (日本理容美容教育センター発行)	参考文献 副教材等	シュウウエムラベ ーシック(シュウウ エムラ発行)
-----	--------------------------------------	--------------	---------------------------------

学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月	化粧品の定義	<ul style="list-style-type: none"> ・薬事法の基づく解釈
5月	化粧品の定義	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎化粧品とメイクアップ用化粧品
6月	化粧品の定義	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト
7月	スキンケアの意味	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚の再生について ・皮膚の再生を妨げるもの ・美しい素肌の条件 ・学期末テスト
11月	スキンケアの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・クレンジングの徹底 ・スキンケアの実行(実習) ・カウンセリングの重要性(実習) ・小テスト
12月	スキンケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケアテクニック(実習) ・施術をしてはいけない病気 ・学期末テスト
2月 3月	スキンケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケアテクニック(実習) ・学期末テスト